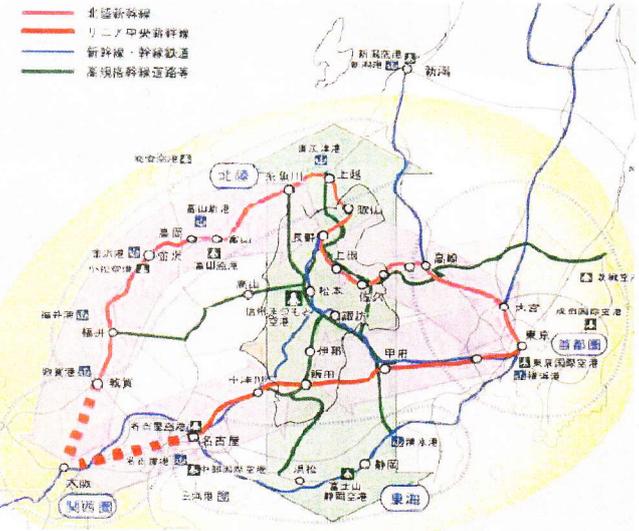


リニア活用基本構想決定



長野県では、リニア中央新幹線の開通により、首都圏中部圏近畿圏の行き来が便利になるだけでなく、産業の振興による地域の活性化など、その効果を広く県内に波及させるために、リニア活用基本構想を策定し3月26日の部局長会議で決定した。

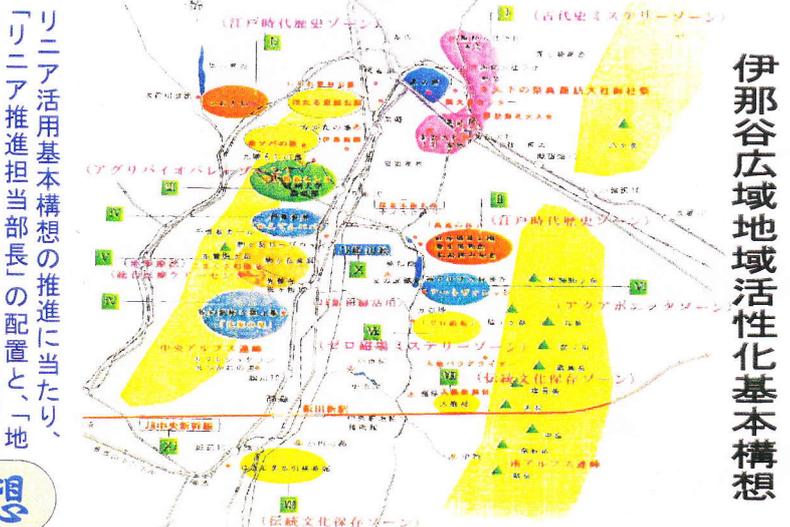
その中でリニアを活かした交流圏を想定し、今ある地域資源を活かして人々を惹きつけ、人口の減少を交流人口の拡大で補い、日本の将来に貢献する長野県を指して、①上伊那・飯伊地域(伊那谷)の長野県駅及び伊那谷交流圏構想、②諏訪・木曾・松本地域及び近隣地域(中伊那)の長野県駅、山梨県駅、岐阜県駅の駅圏域(リニア3駅活用交流圏構想)、③長野県全域の本州中央部広域交流圏構想の3つの交流圏構想を打ち出した。

特にリニア長野県駅が設置される伊那谷は、南アルプスと中央アルプスの雄大な山並みと悠久の流れを刻む天竜川など、豊かな自然と景観に恵まれ、地域の祭りや伝統芸能をこの地に住む人々によって受け継がれ、地域の魅力を広く伝える力になっており、高い技術を活かしたものであり、産業が立地し、地場産品や多彩な農林産物生産により地域の経済が支えられており、伊那谷交流圏の実現に向けて、これらの地域の特長を活かした多様な地域振興策を効果的に展開させていく必要があります。リニア活用基本構想の策定に当たり、上伊那・飯伊地域の市町村や広域連合組合等の要望や検討事項を参考に策定されたもので、今後地元の見解と整合を図りながら方向性を共有し、伊那谷の地域振興に取り組みたいと考えています。

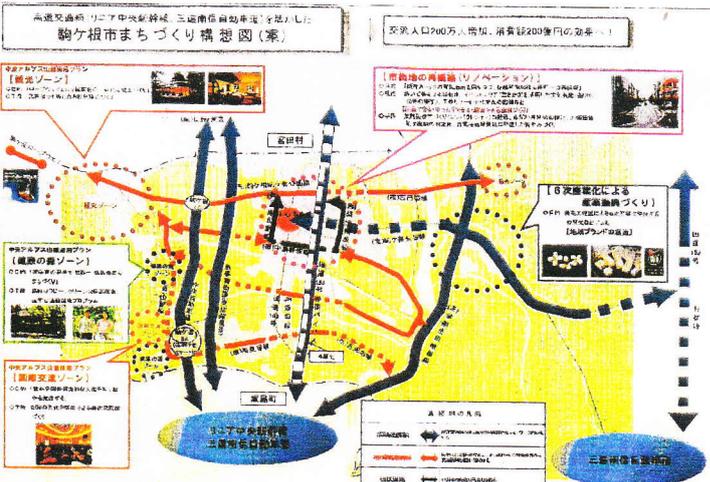
佐々木県議は、一般質問でリニア活用基本構想の推進に当たり、3つの交流圏構想を推進するためには、伊那谷を中心とする南信及び木曾地方を含めた広域域かつ効果的な地域振興策の推進が必要と考える。

隣の愛知県での東三河県庁を例に挙げ、担当副知事を配置し本部長として、政策立案と調整機能を備えた司令塔の役割を備えた南信県庁的な組織が必要として提案。それに対して阿部知事は、当面は企画振興部に「リニア推進担当部長」を設置し、「東海東部の調整」リニア推進に係る施策の総合的な調整を行うほか、庁内に「リニア中央新幹線 地域振興推進本部」を設置するとともに、「現地においては、上伊那と木曾のエリアを統括するに、現地推進本部(仮称)」を設け、各地方事務所と建設事務所が連携して地域振興に取り組みを構築していく。従って、統括担当の副知事は置かないが、私が本部長を務める地域振興推進本部において、責任を持って対応をし、副知事については今後の課題としたい。

要は、基本構想はリニアの整備効果を地域振興に活かすための道筋を示したものであり、構想に掲げた内容を今後どの様に具体化していくかが重要と受けた。



リニア活用基本構想の推進に当たり、「リニア推進担当部長」の配置と、「地域振興推進本部」を設置し、知事が本部長を務めて責任を持って対応



佐々木祥二事務所内 県政ながの市民相談室

県政をはじめ日常生活の中で、お気づきの点やお困りのこと等がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

お待ちしております。
電話 81-4600

「国際交流」ゾーン(大使村)構想

目的 国際交流の場を創出する。国際交流の場を創出する。国際交流の場を創出する。

手続 国際交流の場を創出する。国際交流の場を創出する。国際交流の場を創出する。

ワールドブース 高知県産品のブースでの販売促進。販売促進。販売促進。

コンサートホール 高知県産品のブースでの販売促進。販売促進。販売促進。

料理イベント 高知県産品のブースでの販売促進。販売促進。販売促進。

レセプションホール 高知県産品のブースでの販売促進。販売促進。販売促進。

見込み JICA新着、強力なOB、大規模との関係、自治体との関係、新着品は、スマートインターチェンジ、観光。

JICAとの連携 JICA新着、強力なOB、大規模との関係、自治体との関係、新着品は、スマートインターチェンジ、観光。

駒ヶ根市まちづくり構想(案)

駒ヶ根市まちづくり構想については、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道等の交通網整備を活かし、交流人口200万人・消費額200億円を目指して、中央アルプス山麓活用プランにより、ロープウェイと駒ヶ根高原の一体的な魅力づくりによる雨天でも楽しめる「観光ゾーン」、産学官の連携で世界一健康長寿なまちづくりを目指した「健康の森ゾーン」、世界各国の魅力的な文化を駒ヶ根から発信し、各国の文化を堪能できる異次元空間の「国際交流ゾーン」の3ゾーンに分け、各ゾーンを車には車の、歩く人には歩く人の心地良さを追及した「道」を整備してつなぐ構想である。